

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587011303	科目番号 / Subject code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (企業行動と戦略) / Organizational decision making and strategy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部の1年生~4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館5階507室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発展する企業・魅力的な企業はどのような経営をしているのだろうか。企業を成功に導くためのヒト・モノ・カネ・情報の使い方について考察する。		
授業到達目標/Goal	企業に関する基礎的な知識を習得し、特に、戦略的思考ができるようになる。授業で取り上げる企業やグループでの県内企業に関する研究を通じて、発展する企業・魅力ある企業のあり方について理解を深め、起業に関する自分としての意見を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	1回目のオリエンテーション後の2回目~4回目の授業では企業に関する基礎知識の説明を行い、4回目に、履修者のグループ編成を行う。5回目からは、教科書に沿って1章づつ進み、授業時間の最後に、内容に関するグループ討議を行う。次に、長崎県内の企業の経営戦略についてグループごとに研究を進め、成果を発表する。最終回は企業経営と起業について、グループで討議する。		
授業内容/Class outline/Con	現代の企業について、基礎的用語と概念を学んだ後、発展する企業・魅力的な企業になるための経営戦略について、一つずつ検証していく。並行して長崎県内の各種企業を各自の所属するグループで研究し、県内企業がどのような経営を行っているかについて理解を深める。多くの事例を通じて得た知識で、自分ならばどのような企業を起こすか、起業について考えてみる。		
キーワード/Key word	経営資源・市場・経営戦略・起業		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 浅羽茂・須藤実和 『企業戦略を考える』日経文庫1276、日本経済新聞出版社、2013年		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への参加態度(30%)と期末に課すレポート(70%)により評価する。60%以上が合格となる。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	9回以降は携帯PCを使います。また、配布資料等は、LACSにアップしていきます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション(授業内容・授業方法・評価方法等)		
2回	企業に関する基礎知識 [市場と経営資源]		
3回	企業に関する基礎知識 [経営と会計]		
4回	企業に関する基礎知識 [経営戦略とマーケティング]		
5回	成長市場を探す		
6回	競争を考慮する		
7回	安定的成長をもくろむ		
8回	長崎県内の企業について研究する		
9回	自社の強みを活かす		

10回	学習の場を設ける
11回	競争戦略と連動させる
12回	戦略を構想する
13回	研究発表
14回	研究発表
15回	〔まとめ〕企業経営と起業

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2016/04/01 ~ 2016/06/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587011703	科目番号 / Subject code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (社会制度と経済活動) / Social system and economic activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo, 村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館 6階630		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後10分。その他の時間についてはメールにて予約を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	我々は、モノやサービスの購入などの経済活動を行うためににお金を必要とする。お金の価値が守られるための金融のしくみについて、考察する。		
授業到達目標 / Goal	金融が、消費者や企業の活動に、どのような機能を果たしているかを説明できる。 銀行の機能とそれが果たされるためにどのような仕組みが設けられているかが説明できる。 利率とは何か、利率はどのように決まるかが説明できる。 株価が理論的にどのような要因に影響を受けるかが説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書、配布資料、DVD等を用いた講義と小さなグループでの討論、株式学習ゲームによるグループ学習が中心になります。宿題も数回あります。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	貨幣、中央銀行、金融システム、情報の非対称性、株価		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	【教科書】 岩田規久男『テキストブック金融入門』東洋経済新報社、2008年。 【参考書】 池尾和人『現代の金融入門』新版、ちくま新書、2010年。 晝間文彦『基礎コース 金融論』第3版、2011年。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験100%とします。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業の外に、週平均2時間以上の学習 (予習、復習等) が必要になります。		
アクセシビリティ / Accessibility	アクセシビリティ 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業の進捗状況により、シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがあります。学習方法としては、教科書をよく読むことを勧めます。新聞等で報道される金融に関するニュースや企業についてのニュースに関心を持ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス: 金融取引とは		
第2回	株式学習ゲーム		
第3回	貨幣による決済: 電子マネーは貨幣?		
第4回	銀行と決済制度		
第5回	貨幣の供給		
第6回	決済システムの安定性		
第7回	貨幣の過不足と貯蓄・投資の関係		
第8回	直接金融と間接金融		

第9回	株式学習ゲームの成果報告(1)
第10回	間接金融のしくみ、リスクと金融制度
第11回	利子率とは
第12回	金利・資産価格と経済行動
第13回	株式学習ゲームの成果報告(2)
第14回	まとめと復習
第15回	期末試験
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587012103	科目番号 / Subject code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動d (経営情報と会計情報) / Management and accounting information		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina, 村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部 (方淵キャンパス) 本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日13:00-14:00 (臨時j会議等で不在のこともあるため要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのかを行動実験を基にした学説を通じて学ぶ。		
授業到達目標/Goal	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	会計報告の諸問題を理解するとともに、実際にグループワークを通じて、経営者の開示インセンティブと投資家の情報ニーズのマッチングについて問題点を探し出す体験型の学習を行う。		
授業内容/Class outline/Con	初回イントロダクションにおいて、会計監査の定義を行い、その後「社会科学としての会計学」、「財務報告の国際的動向」、「会計監査の諸問題」、「投資意思決定上の諸問題」、「任意開示意思決定上の諸問題」の5つのテーマをそれぞれ2~3回を用いて学ぶ。それぞれ一般知識のインプットとともに、受講生の意思決定行動の体験ワークを通じて、情報の影響力、感情の作用、それらのコントロールシステムの在り方などを学んでいく。		
キーワード/Key word	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	内藤文雄『会計学エッセンス第2版』中央経済社, 2015年。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義中のグループワーク (30%)、期末レポート (60%)、その他 (10%) による評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法 (active listening)、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション 会計とは何か 財務報告と監査の役割		
第2回	社会科学としての会計学 (1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解		
第3回	社会科学としての会計学 (2) 功利主義哲学と社会科学の関係~マイケルサンデルの問題提起を参考に		
第4回	社会科学としての会計学 (3) コストベネフィット分析と会計諸問題		
第5回	財務報告の国際的動向 (1) 財務報告の目的変遷~会計説明責任と投資意思決定支援		

第6回	財務報告の国際的動向（2） IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題（1） 厳格監査と馴合監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク～
第8回	会計監査の諸問題（2） 銀行と監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題（3） ベンチャー企業と監査 ～ストーリーを使つての問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題（1） 財務情報と非財務情報 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
第11回	投資意思決定上の諸問題（2） 強制開示と任意開示 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
第12回	投資意思決定上の諸問題（3） 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
第13回	任意言開示意思決定上の諸問題（1） プロプライエタリーコストと開示意思決定 ～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験～
第14回	任意言開示意思決定上の諸問題（2） 評判マネジメントと開示意思決定 ～グループワークを通じての経営意思決定の体験～
第15回	任意言開示意思決定上の諸問題（3） 財務トレンドと任意開示量の関係 ～グループワークを通じての経営意思決定の体験～
第16回	定期試験